

キャラクター名
月夜 櫻子(つくよ さくらこ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ウロボロス	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17歳	性別	女性
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	49 %
出自	犯罪者の子	経験	脱走	邂逅	転:アルフレッド・J・コードウェル

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	1	0			3	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	6	2	射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
スネークブレード(剣)	白兵	3r+7	3	8		ICp72 マイナー直前のオートで効果↓に変更
スネークブレード(鞭)	白兵	2r+7	3	8		ICp72 オートで効果↑に戻す
		0				
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:UGN幹部	
コネ:要人への貸し	
ウェポンケース	
アリスのペンダント(メモリー)	
スネークブレード	
コンバットフォーカス	
デモンズシード	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
先行種	P	N		
PU:両親	P 慕情	N 隔意		
RE:アリス・ヴェルミオン	P 純愛	N 劣等感		
	P 連帯感	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 11

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:ウロボロス	3	2	メジャー					
効果:								
狂騒の旋律	3	5(7)	セットアップ	視界	範囲(選択)	自動	-	
効果:	RWp38 R中の攻+Lv*3/暴走付与/既に暴走中なら侵蝕+2							
原初の赤:アナトミックラスト	1	4	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	EAp122/RWp40 攻+Lv*2/暴走時更に+3							
激情の早鐘	1	4	オート	至近	自身	自動	100	
効果:	RWp38戦闘不能回復時全判定C値-1(≥6)/重複可/MP終了まで持続							
背徳の理	4	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EAp124 オーヴァードへ与ダメ時ウロボ判定+[Lv*2]d							
原初の黒:鏡の盾	2	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果:	EAp25 被ダメの[Lv*20]までをカウンター/基本侵蝕+3							
混色の氾濫	1	2	メジャー	-	範囲(選択)	-	-	
効果:	EAp124 原初系対象変更							
原初の白:時間凍結	1	7	イニシアチブ	至近	自身	自動	80	
効果:	EAp33/125 未行動のままメインプロセスを行う。HP20点失う。基本侵蝕+4							
破壊の稼働	1	5	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	EAp124 オーヴァードへ与ダメ時装甲無視							
原初の虚:ハイブリーディング	1	8	オート	至近	自身	自動	120	
効果:	EAp126/RWp35 エフェクトの回数回復/その侵蝕値のHP失う/基本侵蝕+3							
ライトスピード	1	5	マイナー	至近	自身	自動	100	
効果:	EAp77 メジャーアクション*2行方/C値+1							
極光螺旋	3	1~5	マイナー	至近	自身	自動	80	
効果:	EAp125 メインプロセス中の攻撃+[Lv*任意の侵蝕値](≥20)							
原初の紫:デビルストリング	1	7	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	EAp122/68 オート打ち消し							

「おめでとう!」「おめでとう!!」「アナタこそが集大成!!」「あなたこそが人類の希望!!!」
『私』はその時産声を上げた。
インフィニティコード。レネゲイドの根源と未知の可能性を秘める計画。FH構成員の両親はその身を、人生を研究に捧げていた。その集約が『私』。我が子をもサンプルにする貪欲さが、ついに一端の実を結んだのだ。結局、UGNに嗅ぎ付けられた彼らのセルは呆気なく崩壊したけれど…私が今も生かされているのは、自分でも分らないこの研究成果『先行種』の為だろう。そこは、今も冷凍庫で眠る両親に感謝しなければならぬ。
さて、この呪いと祝福は、やはりあの博士の思惑なのだろうか。答えは『分からない』だ。だからこそ、私は探し続ける。いつかその真実が白日の下に晒されるまで、黒塗りにされた非日常を削ぎ続けてやる。
「ねえ。私のこと、両親のこと。可哀想だと思いませんか?もしそうなら…ふっふ。貴方も偽善者ね」
「家族…家族ねえ。その定義って何かしら」
「UGNは私のこともジャームではなくオーヴァードとして見てくれるんですね…お優しいこと」
「アリス…あの子は私と随分違う人生を歩んでいるようで、勉強になりますねえ。全く…誰の差し金かしら。趣味が良すぎて楽しくなってしまうわ」

【CN:グッドナイトワールド 初回面談より抜粋】
—名前は何?
「月夜櫻子」
—どうしてここに居るかは理解していますか?
「貴方達の思想に『両親』の計画がそぐわなかったからだ」
—…。計画の内容はどこまで知っていますか?
「愚問だ。私は容れ物に過ぎない」
—…知らないのですか?

